

平成30年8月25日(土)

林間学校で使える！レクリエーション講習会 報告書

2つの台風が過ぎたあとの猛暑のなか、『林間学校で使える！レクリエーション講習会』を開催しました。13名にご参加いただき、レクリエーションゲームを楽しみ、学ぶ1日となりました。

この講習会は、教職員や自然体験活動・青少年教育に興味がある方を対象に、林間学校で使える活動の導入からキャンプファイヤーまでのレクリエーションゲームを体験・実践しました。



まずは、はじまりのつどいからスタート。呼ばれたい名前と好きな食べ物を言って自己紹介。まだまだ笑顔が少ないので、導入に使えるハンドゲーム（手遊び）や注意をひくゲームで少しずつ緊張を解いていきます。

“グーパー”は、右手をグーで胸に、左手をパーで前に出して「はい」と言ったら、左右を入れ替えます。だんだんリズムを早くしたり、手を替えたり、拍手を入れたりすると動きが増えると、頭と体が混乱して間違えてしまいます。間違えたらなぜか笑ってしまい、みんなの笑いも少しずつ増えていきます。



次は、ジャンケンを使ったレクリエーションゲーム。2人組でやるものや、全体でやるもの、最後は体を使ったものまで、いくつものバリエーションを体験しました。ジャンケン列車のような「エグザイルジャンケン」は、ぐるぐると回っていると、楽しくなっていきます。ジャンケンは簡単ですが、なかなか奥が深いですね。



今度は、グループや全体で使えるレクリエーションゲーム。“シュウマイジャンケン”では、動作を覚えみんなが全身でシュウマイを表現します。♪シュウマイしゅうまいジャンケン♪シュウマイしゅうまいジャンケン♪ジャンケンポン♪と歌いながら、肉シュウマイ（グー）・カニシュウマイ（チョキ）・エビシュウマイ（パー）と3つのシュウマイの内1つの動作をして勝ち負けを決めます。



ここからは、キャンプファイヤーで使えるレクリエーションゲーム。ここでキャンプファイヤーを行う時に必要な“3つのかく”や見せ方について説明し体験しました。

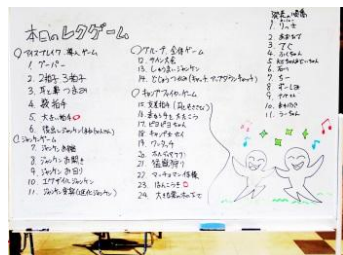
「3つのかく」とは、「字をかく」・「汗をかく」・「恥をかく」。

「字をかく」：やったことをふりかえり、こうした方が盛り上がるなど字に書いて記録しましょう。

「汗をかく」：まず体験して汗をかき、体にしみこませましょう。

「恥をかく」：覚えたゲームを実際に指導してみても恥ずかしいレクリエーションでも楽しみましょう。

というものです。歌を歌ったり、ソングゲーム（歌と踊りが一緒のもの）やマッコマン体操などを行い汗だくになりました。実際にキャンプファイヤーの流れのようなプログラム（静・動・静）の流れも体験しました。



ここでお昼休憩です。スタートから2時間ぐらいで24種類のレクリエーションゲームを行いました。みなさんが楽しんでいたので、あっという間に時間が過ぎていきました。

午後からは実践の時間として、今回やった内容や知っているレクリエーションゲームをみんなの前で指導します。ワクワクやドキドキがみなさんの表情から伝わってきます。まずは恥をかきましょう！



「あとだしジャンケン」、「大きいちょうちん」、「ジャンケンピラミッド」、「震源地」、「木の中のリス」、「はんこうき」、「ぴよぴよちゃん」、「アブラムシ」、「お風呂」、「どじょうつかみ」、「肩たたき」と、順番に行いました。実際に指導してみると、こうすれば良かったとか、ここを変えるとなどの意見もできます。楽しんだからこそ、伝え方にも工夫ができるようになります。今回体験したレクリエーションゲームは、キャンプファイヤーでも大いに役立ちそうです。講習会に参加したみなさん、今回の経験を活かして楽しい活動にしてくださいね。わからない場合は、担当までご連絡ください。ご参加ありがとうございました。

文責：渡部